

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 講演会型(中学校)

学校名等	池田町立池田中学校
実施日時	令和7年12月4日(木)
会場	池田中学校 体育館
参加人数	2年生生徒(244名)及びその保護者
学習課題(分野)	がん教育講演会
運営者の願い	昨年度に引き続き、健康教育の一環として、2年生を対象とした「がん教育」に関する講演会を、本校の家庭教育学級の研修の一環として計画をした。 講師には、がん専門看護師をお招きし、日本のがんの現状や、がんに関する正しい理解と適切な態度や行動についてお話をいただき、生徒と共にいのちの大切さについて考える機会とした。

### 学習の内容

#### <講演会>

日時:12月4日(木) 14:30~15:10(第5時限、6時限)  
場所:体育館2階  
講師:西濃厚生病院 がん専門看護師 田上知江美 様  
演題:「日本のがんの現状について」

#### <講演内容>

本公演では、以下の内容について、図やグラフ等を用いてわかりやすく説明いただいた。

- がんの発生のメカニズムについて
  - ・ がん細胞は、細胞が変異し、修復されないことでがん細胞となること。また、そのがん細胞のうち、免疫作用によって修復されない「がん」となること。
- がんの原因について
  - ・ 喫煙や飲酒、偏った食事、運動不足などの生活習慣、細菌やウイルスによる感染、遺伝が原因と考えられていること。
- 日本での現状について
  - ・ 日本では2人に1人ががんにかかり、日本人の3割が、がんで亡くなっていること。
- がんにならないために
  - ・ 喫煙や飲酒により、悪影響を受けやすく、さらに、中学生や高校生の若い時期の喫煙や飲酒は、大きな影響を受けること。
- がんの治療法について
  - ・ 治療方法には、手術療法、放射線療法、化学療法があり、治療可能な病気であること。
- がん患者への配慮・支援について
  - ・ 患者に対し、がん、がん治療への正しい理解にくわえ、その家族への支援の在り方を理解することで、だれもが暮らしやすい社会につながることを。



#### <参加者の感想>

- ・ がんは、生活習慣に問題のある人がかかる病気ではなく、誰もがかかる病気であること、早期発見が大切であることを改めて知ることができました。
- ・ 患者さんへの理解を深めることの大切さを知ることができた。身近なこととしてとらえることができました



#### 開催方法の工夫

生徒を対象とした講演会を、家庭教育学級の研修として位置づけることで、同じ内容を親子で共有することができ、家庭等での話題のきっかけとなるようにした。



#### 内容の工夫

生徒を対象であるため、内容がわかりやすくする事で、保護者に対しても理解しやすい内容となるようにした。